

関東福祉専門学校 令和2年度 第2回 教育課程編成委員会

日時：2021年3月12日（金）

14：00～15：00

会場：関東福祉専門学校 301 教室

1.開会挨拶 関東福祉専門学校校長

2.出席者

【外部委員】（敬称略）

団体役員・有識者

佐々木 綾子 千葉大学 国際教養学部 講師

企業等役員職

加藤 英樹 撫でし子株式会社 理事長

（事前に意見要望を提出）

篠田 浩一 社会福祉法人緑風会 花ノ木の郷 施設長

【学校委員】

小山 まり 学校長

生方 薫 教務担当主任（領域 人間と社会 領域主任）

長谷川 達也 専任講師（領域 介護 領域主任）

3.今年度の教育目標・授業内容について

パワーポイント資料参照

4.委員からの意見要望

加藤様（事前提出意見要望）：①特に留学生の国家試験の合格率アップのために、国家試験対策に力を入れてほしい。②留学生は、はっきりものをいうことが多い。それはそれでよいことであるが、一方、日本的なやり方や文化も、もう少し理解を深めるように指導してほしい。

佐々木先生：学内実習を行ったということで今年度に関しまして学生に与える影響も変わったと思う。普段の授業を録画して配信するなど、在学している学生だけでなく、卒業後の学生にアプローチも必要である。

篠田様：3名の学生がお世話になっており、国家試験も受験したが、合格は難しいと思われる学生もいる。その子たちに対してのアプローチは卒業後にあるのか？施設としては、取り組めるような環境を提供したい。ICT化の活用が進んでいる。結果、職員の業務負担の軽減につながることを期待している。学校（在学中）から取り入れることはできるのか？初期投資は大変。

校長：コロナ禍ではあったが、学校として大きな事故がなく1年間過ごすことができた。学校としては特別なことはしておらず、基礎的なことを徹底した。N e t環境は今後設備投資が必要である。卒業後の学生の対応は、オンラインというところでも検討していく。

長谷川達也：2年生に関して、施設でアルバイトをしている学生に関しては、特段問題がなく行えたが、それ以外の方は就職も関わってくる時期に判断が鈍ることもあったと感じている。1年生は「情報収集」という直接利用者さんに関わることを体験させてあげられなかったことが残念。コロナの影響で今まで学校として培ってきたものを変えざるを得ないこともあった。何をすることが学生にとって良いのか、今後も、臨機応変に対応していきたい。

生方：学校の現状として、外部に発信する研修事業も増えてきている。その中で、卒業生にも目を向けることができるように学校と卒業生本人と施設とで連携を図っていきたい。貴重なアイデアをいただきありがとうございました。

5.次回開催日程について

2021年8月30日（月）14:00～

6.閉会